

# 犬塚鎮家

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

**犬塚 鎮家**(いぬづかしげいえ)は、戦国時代の武将。筑後宇都宮氏族蒲池氏庶流。犬塚家久の子である家清の子。子に掃部助鎮盛。少貳氏・龍造寺氏の臣。肥前神埼郡小松城主。犬塚弾正、盛家。播磨守。藤津両弾二島の一人。

龍造寺氏配下の武勇優れた4人(大村弾正・犬塚弾正・百武志摩守・上瀧志摩守)を両弾二島と呼び賞賛した。

享禄3年(1530年)、田手畷の戦いでは父・家清とともに少貳資元に属して大内義隆と戦う。永禄12年(1569年)の東西犬塚氏の抗争では西犬塚を支持する。天正4年(1576年)、龍造寺隆信の肥前藤津郡横澤城攻めで先陣を切る。天正9年(1581年)、龍造寺政家の肥後侵攻に従軍した。五ヶ国御領地之節配分帳には犬塚盛家570町とある。

「<http://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=犬塚鎮家&oldid=41773134>」から取得

カテゴリ: 戦国武将 | 犬塚氏

- 最終更新 2012年3月24日 (土) 02:12 (日時は個人設定で未設定ならばUTC)。
- テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。

# 犬塚氏

三つ巴  
(宇都宮氏流蒲池氏流)



犬塚氏は下野宇都宮氏流で、蒲池、大木、城島、酒見氏らと同族で、筑後国における有数の豪族であった。蒲池義久の子家貞が、三潯郡犬塚に住して犬塚を称したことに始まる。のちに佐嘉郡川副郷に住した。明応年間の頃、肥前国神埼村に移住した。

家直には五人の男子があり、家直・家重・家種・家久・家喜で、それぞれ小貳氏の部将となった。家直は崎村にいて東犬塚を称し、家種はこれを補佐した。家重は蒲田江に住して西犬塚を称した。そして、家久は別に直鳥に城して直鳥家と呼ばれ、あわせて三犬塚氏と称された。

天文年間(1532~54)、小貳氏に仕えていた家重は、小貳氏と竜造寺氏が敵対するようになると、これに反対の態度をとった。そして、のちに竜造寺氏隆信が勢力を拡大してくると、東西犬塚氏ともに隆信の部将となり、ともに竜造寺氏十九城将の一となった。しかし、永祿に至り、家重の孫(子とも)尚重は同族の崎村城主鎮直を誘殺し、尚重も自刃した。

隆信は尚重の子を養って信尚と名付け、のちに茂続と改めさせた。そして、父鎮直の忠死を憐れんで、旧領を信尚に安堵している。さらに、信尚はのちに竜造寺姓を与えられた。

Ads by Google

▶ 家紋

▶ 家系図

## ■参考略系図



戦場を疾駆する戦国武將の旗印には、家の紋が据えられていた。その紋には、どのような由来があったのだろうか…!?

## 武家の家紋の由来



目的に合わせて4種の光を選べるLEDデスクライト

PCモード含、目に優しい4モード



液晶画面を見るときにおすすめPCモード搭載LEDデスクライト



【ODELIC オーデリック】防雨型、おしゃれなエクステリアライト

地域ごとの戦国大名の家紋・系図・家臣団・合戦などを徹底追求。

## 戦国大名探究

- 徳川家康
- 近江浅井氏
- 播磨赤松氏
- 出雲尼子氏
- 戦国毛利氏
- 肥前龍造寺氏
- 杏葉大友氏
- 薩摩島津氏

# 犬塚氏

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

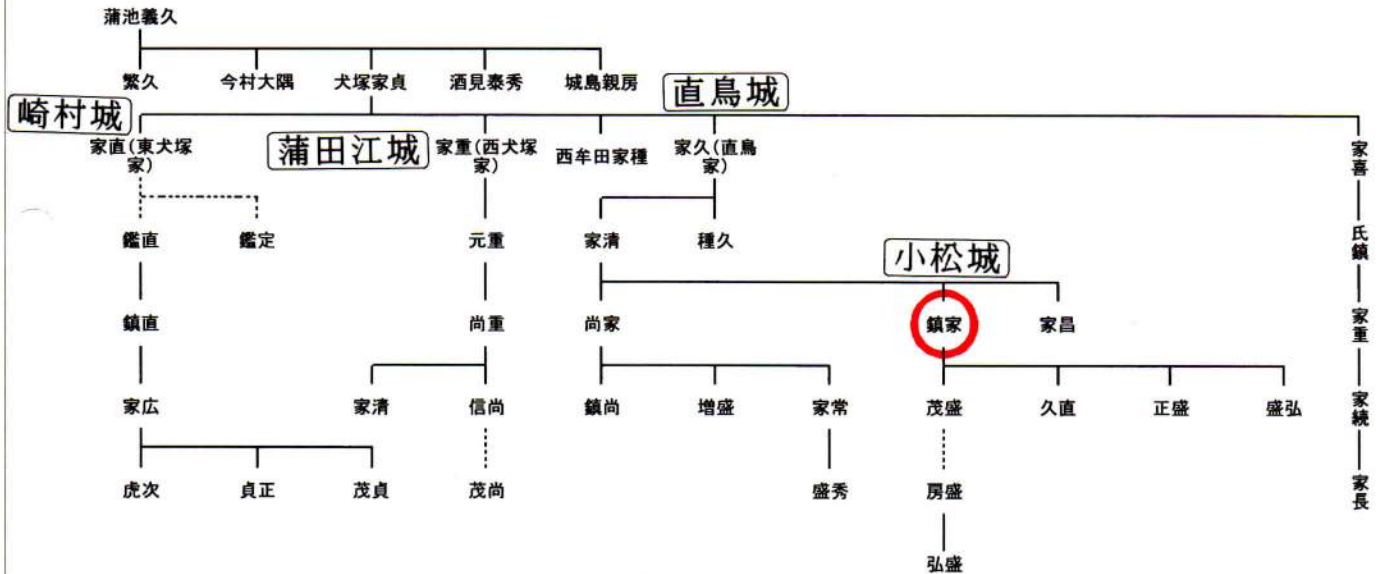
犬塚氏(いぬづかし)は、筑後宇都宮氏族で蒲池氏の庶流。

当初は筑後国三潁郡犬塚郷(現在の福岡県大木町)を本拠としていたが、明応年間に犬塚家貞が肥前国神埼郡蒲田郷に崎村城を築いた。その後、蒲池氏から独立して少弐氏の部将となった。家貞の長男の家直は崎村城主(東犬塚氏)、次男の家重は蒲田江城主(西犬塚氏)、三男の家種は家直の補佐役および西牟田氏の祖、四男の家久は直鳥城主、五男の家喜は古賀館主となった。

永禄12年(1569年)に大友義鎮が龍造寺氏を攻撃した際、崎村城の鎮直は龍造寺氏、蒲田江城の尚重は大友氏に味方して相争い、共に戦死した。その後、龍造寺隆信は鎮直の遺子・家広に300町の領地を与えた。元亀3年(1572年)に家広は三根郡に移封され、龍造寺家臣となった。天正4年(1576年)の龍造寺氏の横津城攻めには犬塚鎮家が先陣を務めた(『肥陽軍記』)。

## 系譜

実線は実子、点線(縦)は養子、点線(横)は婚姻関係。



## 参考文献

- 角川日本地名大辞典編纂委員会『角川日本地名大辞典(41.佐賀県)』、角川書店、1982年

「<http://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=犬塚氏&oldid=53233796>」から取得

カテゴリ: 犬塚氏 | 九州地方の歴史 | 九州地方由来の姓

- 最終更新 2014年10月17日 (金) 04:50 (日時は個人設定で未設定ならばUTC)。
- テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。